

2 新しいエネルギーの導入と活用 循環型社会の構築にむけて

■エコエネルギーセンター管理運営事業
【衛生費】(新規) 2,000万円
(農林水産環境部 環境バイオマス推進課)

エコエネルギーセンターを施設改修し、同センターから発生する有機肥料を市内の農家のかたなどへ利用促進し、地域農業の活性化を図ります。また、市内やセンターから発生するこれまで未利用だった資源を活用することで、循環型社会の実現をめざします。

【イメージ図】



※本予算に関連する条例については、現在市議会において継続審査となっています。

3 ごみ・廃棄物対策

計画的な廃棄物処理のために

■不燃ごみ処理有料化経費
【衛生費】(新規) 1,323万円
(市民部 市民課)

平成21年10月1日から不燃ごみの有料化を実施します。

不燃ごみの排出量に応じて処理手数料を徴収することにより、ごみ処理の公平な費用負担を排出者のかたに求めるとともに、ごみの減量化などを図ることを目的とします。

処理手数料の徴収方法については、可燃ごみと同様に市指定ごみ袋(45リットル入:30円/枚、30リットル入:20円/枚)を市内の販売店で購入していただくことにより、ごみ処理手数料を負担していただくこととします。



埋立処分場の不燃ごみ

■し尿収集車更新経費
【衛生費】(拡充) 1,194万円
(市民部 市民課)

網野衛生センターで、日々し尿収集している老朽化したバキューム車を1台更新します。(12年経過した2トン車を廃止し、新たに3トン車を購入)



し尿収集車

■竹野川衛生センター焼却炉等整備事業
【衛生費】(拡充) 7,636万円
(市民部 市民課)

竹野川衛生センターの焼却炉および熱交換器が故障し、焼却処理ができないため、焼却炉の改修工事と熱交換器の更新工事を併せて実施します。



竹野川衛生センター熱交換器

Ⅲ 生きる喜びを共有できる 健やか安心都市

安心ネットワーク形成プロジェクト構想

1 市民主体の健康づくりの推進

自殺ゼロのまちづくりの実現に向けて

■自殺予防対策事業
【衛生費】(拡充) 204万円
(健康長寿福祉部 健康推進課)

悩み苦しむ多くのかたに無料で電話相談ができるように、京都市内にある専門相談員の相談窓口へ接続するとともに、健康の悩み、職場の悩み、債務の問題など多くの悩みの手助けに「パンフレット」を作成します。市内のご家庭に配布して積極的に自殺予防対策に努めます。



京丹後市自殺ゼロ実現推進協議会

(相談窓口)

京丹後市内から、固定電話・携帯電話で下記の番号に掛けていただければ無料で利用することができます。

【無料電話相談窓口】

- ◇「こころの相談電話」
(京都府精神保健福祉総合センター)
☎ 0120-689-874 (はなし)
月曜日～金曜日
9:00～12:00・13:00～16:00
- ◇社会福祉法人「京都いのちの電話」
☎ 0120-689-107 (いのち)
365日・24時間

市民の健康を守ります

■地域健康づくり推進事業
【衛生費】(拡充) 85万円
(健康長寿福祉部 健康推進課)

健康づくりの意識を啓発するとともに、健康づくりの重要な要素である栄養の視点から地域活動を推進するため、食生活改善推進員の養成を通して会員数を増やし、資質向上とスムーズな地域活動をすすめるため研修などを通し活動支援を行っています。

食生活改善推進員は、健康づくりの基本である食生活改善を推進するボランティアとして活動し、現在市内約270人の会員で構成されています。



食生活改善推進員養成講座

健康推進講演会を開催

■健康推進員制度創設及び活動支援事業
【衛生費】(新規) 35万円
(健康長寿福祉部 健康推進課)

地域住民の健康づくり対策を進める核となる健康推進員を創設するとともに、健康推進員の健康づくりに関する知識向上や研修のために、講師を招き講演会を開催します。

健康推進員自身が健康づくりのための知識を持ち、自分自身や家族の健康づくりを実践し、地域ぐるみで健康な地域づくりをめざす取り組みです。そのために、「健康推進員としてやる気になる」研修を企画します。



健康推進員の研修